

北日本漁業経済学会 ニュースレター

第46回函館大会函館大会の直前案内

秋の大会プログラムが下記のように決定しましたのでご案内いたします。

日時：2017年11月9日(木)～11日(土)
会場：北海道大学水産学部（函館キャンパス）

スケジュール

- 11月 9日(木) 18:00～ 理事会（管理棟404号室）
- 10日(金) 9:20～12:00 ミニシンポジウム（マリンサイエンス棟1Fオープンスペース）
- 13:00～17:00 シンポジウム（ ” ” ）
- 18:00～19:30 懇親会（生協食堂，会費4,000円）
- 11日(土) 9:30～11:45 一般報告（第2研究棟・W103）

大会プログラム

【11月10日(金)】

会場：マリンサイエンス棟1Fオープンスペース

開会挨拶 9:20～ 9:30
北日本漁業経済学会会長・二平章（茨城大学人文学部）
北海道大学大学院水産科学研究院長・安井肇氏

ミニシンポジウム 9:30～12:00 道南漁業・水産加工業の現状と課題

- 司会：寺井 稔（函館水産試験場長）
- 1. 海洋環境の変動と資源への影響 9:30～9:50
西田芳則（函館水産試験場）
 - 2. コンプ漁業の現状と課題 9:50～10:10
前田高志（函館水産試験場）
 - 3. ホタテガイ養殖業の現状と課題 10:10～10:30
金森 誠（函館水産試験場）
 - 休憩 5分
 - 4. スルメイカ漁業の現状と課題 10:35～10:55
澤村正幸（函館水産試験場）
 - 5. ひやま漁協における漁業振興対策 10:55～11:15
中西亮太（檜山振興局）
 - 6. 水産加工業における課題と対策 11:15～11:45
利波英樹（トナミ食品工業(株)）

質疑応答 15分

昼休み

シンポジウム 13:00～17:00 新規漁業就業の動向とその対策の検討

- コーディネイター・司会：濱田武士（北海学園大学）
- 趣旨説明：濱田武士 13:00～13:10
- 第一セッション（行政報告）
- 第一報告： 13:10～13:30
北海道での漁業研修制度導入の実態
小島 博（元北海道水産会）
- 第二報告： 13:30～13:50
青森県における新規漁業就業の特徴ある取組
- 下北郡佐井村の事例 -
涌坪敬明
（青森県下北地域県民局
農林水産部むつ水産事務所）
- 第三報告： 13:50～14:10
宮城県における漁業従事者の動向と新規就業対策
渡邊一仁（宮城県農林水産政策室）
- 休憩 10分
- 第二セッション（研究者報告）

- 第一報告： 14：20～14：45
新規就業者対策の今日の特徴
大谷 誠（水産大学校）
- 第二報告： 14：45～15：10
新規漁業就業者確保・育成に向けた地方的支援施策の課題
宮澤晴彦（北海道大学）
- 第三報告： 15：10～15：35
岩手県における新規就業のケーススタディ
杭田俊之（岩手大学）
- 第四報告： 15：35～16：00
沖合・遠洋漁業における海技士不足の実態とその対策
- 水産高校と漁船乗組員確保養成プロジェクトに注目して -
佐々木貴文（鹿児島大学）
- 休憩 10分
- 総合討論 16：10～17：30

懇親会 18：00～19：30
会場：生協食堂（会費 4,000円）

- 【11月11日(土)】 会場；第2研究棟・W103
一般報告 <報告20分・質疑5分>
1. イカ不漁が産地依存型産業に与えた影響と対応
- 函館市における実態調査から - 9：30～9：55
孔 麗（北海道教育大学函館校・国際地域学科）
2. 協業体と新規就業 - 青森県百石町漁協の事例 -
9：55～10：20
濱田武士（北海学園大学）
3. 江戸時代の土佐鯉節と角屋儀三郎 10：20～10：45
二平 章（茨城大学人文学部）
- 休憩 10分
4. 近経理論面から見た蓄養と不完全養殖
- 所謂Schaefer型漁獲関数は蓄養と不完全養殖を正
当化できるか - 10：55～11：20
小川 健（専修大学経済学部）
5. 北海道朱鞠内湖におけるイトウ遊漁者の消費活動
11：20～11：45
芳山 拓（北海道大学大学院・水産科学院）
- 総 会 11：50～12：50
閉 会

事務局からの連絡

1. 理事会の開催

11月9日（木）、18時より、北大水産学部管理研究棟404号室（ゼミ室）にて理事会を開催します。理事・監事の方はご出席頂くようお願いいたします。

2. 学会誌編集委員会の開催

11月9日（木）、16：30より、北大水産学部管理研究棟404号室（ゼミ室）にて学会誌編集委員会を開催します。学会誌編集委員の方（学会誌奥付に氏名を記載）はご出席頂くようお願いいたします。

3. 報告者の皆様へ

学会誌への投稿締め切りは、シンポジウム報告者を含めて2018年2月末日とします。原稿は学会誌編集委員会のメルアド（kitanihon@fish-u.ac.jp）にお送りください。

学会設立50周年に向けて 企画募集中！

北日本漁業経済学会は1968年8月に第1回大会を塩竈市で開催いたしました。来年は記念すべき設立50周年を迎えます。

現在、記念行事・企画を種々検討中です。会員のみなさまのご意見をお寄せください。

会場へのアクセス

函館駅前からバス

- ・函館駅前 北大裏；大野方面 1 2 3 系統 9 時 0 1 分 発 9 時 2 1 分 着

五稜郭公園前電停付近からバス

- ・五稜郭 北大前；フェリー前行き 1 6 系統 8 時 4 9 分 発 9 時 1 2 分 着

J R 五稜郭駅からはバスの便がありません（タクシーで1,000円強）



会場案内図



の建物；管理研究棟

の建物；第2研究棟

の正面玄関から入ってそのすぐ裏手

の建物；マリンサイエンス棟

シンポ会場の「オープンスペース」（以前は産学交流プラザと呼称）は の1F廊下を最奥まで進み、左に曲がったところにあります。なお、この建物には の建物（マリンフロンティア棟）寄りには入り口があり、そこからも入れます。

の建物；厚生会館

1Fの生協食堂が懇親会の会場です。

食事等について

11月10日(金)は生協食堂が営業しています。付近にはラッキーピエロ北大前店、ラーメン伊吹、サンクス、セイコーマート等があります。

<大会に関する問い合わせ先>

北日本漁業経済学会事務局

041-8611 函館市港町3-1-1

北海道大学水産学部内

事務局長 宮澤晴彦（研究室・管理研究棟408号室）

電話；0138-40-8834 携帯；090-5805-1243

E-mail；miyazawa@fish.hokudai.ac.jp

北日本漁業経済学会ニュースレター通巻109号

(発行)北日本漁業経済学会事務局（事務局長；宮澤晴彦）

〒041-8611

函館市港町3丁目1-1

北海道大学大学院水産科学研究所（水産経営研究室）

TEL 0138-40-8834

(E-mail) miyazawa@fish.hokudai.ac.jp

(Website) <http://njfes.sakura.ne.jp/>